

提案団体名: 双日九州株式会社/株式会社オーイーシー (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等

技術の
分野

遠隔診療やメンタルヘルス診断等の健康ソリューション

＜技術＞

① 遠隔診療

オンライン会議、ホワイトボード共有、音声認識機能を搭載した遠隔診療システム。地図情報と連携し、医師や医薬品配送用ドローンの位置を表示することも可能。また、遠隔聴診対応ビデオチャットシステムは心音や肺音等の生体音の取得・可視化・伝送機能を備えており、これまで難しかった遠隔地からの聴診を行うことが可能。

＜遠隔診療システムの画面イメージ＞



(遠隔診療 →)



＜遠隔聴診対応ビデオチャットシステム＞

生体音の可視化技術を用いて質の高い遠隔医療を実現

生体音・血中酸素飽和度・脈拍数 etc.

(遠隔聴診 →)

② メンタルヘルス診断【サービス名：Health Checker for cloud】

WEBカメラで、顔の動画を60秒間撮影するだけで、メンタルコンディションのチェックが可能。定期的にご利用することで、“こころ”の状態変化を把握することができ、セルフマネジメントにも利用可能。



＜Health Checker for cloud の画面イメージ＞



(↑ 判定結果)

(撮影 →)

＜実績＞

① 遠隔診療

大分県内の離島で実証実験を実施。(遠隔聴診以外)
熊本県水俣市で実証実験を実施。(遠隔聴診)

② メンタルヘルス診断【サービス名：Health Checker for cloud】

利用者数：7団体 1,038ユーザ (2020年9月1日よりサービス開始)
※民間企業や学校(自治体)にて利用中。

下記のうち、該当するものを○で囲んでください。

- 交通・モビリティ
- 物流産業
- 担い手確保・人材育成
- 健康・医療**
- 教育
- 観光
- 環境
- エネルギー
- 防災
- その他

(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ

＜課題＞

住民の多くが高齢化しているような離島の場合、高齢者に対する医療サポート体制の強化が課題となる。さらに、医師不足により離島内に常時医師がいない状態の場合、他診療所より医師が定期的に訪問する形となるが、離島への移動負担は大きく、サポート体制に大きな影響を与えている。

＜解決策＞

インターネットが利用できる環境であれば、どこでも診療やメンタルヘルス診断が可能なサービスを提供できる為、医療サポート体制やメンタルヘルスケアの強化につながる。

- ※遠隔診療については、実証実験等を行うことが可能。
- ※メンタルヘルス診断については、既にサービスを公開している為、契約手続き後、すぐに利用可能。



(3) その他

＜参考資料＞

- ・ Health Checker for cloud パンフレット (別添)

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
双日九州株式会社 株式会社オーイーシー	鹿毛 健広 川野 芳樹	092-751-3047 097-537-9564	dx-kyushu@sojitz-kyushu.com y2kawano@oec.co.jp

なぜ「メンタルケア」が 必要なのでしょうか？

なぜ「メンタルケア」が 必要なのでしょうか？

近年は「ストレスの時代」とも言われるように、世界的に「メンタルヘルス」の不調者は年々増え続けており、メンタルケアが重要事項の一つとなっています。

日本も例外ではなく、厚生労働省の「労働安全衛生調査」によると、労働者の約60%が仕事において《強い不安、悩み、ストレスを感じている》というデータがあります。

企業が「メンタルヘルスケア対策」に積極的に取り組むことは、**「従業員個人の支援」という意味でも、「企業の生産性や企業価値を向上させる」という意味なども含めて多くのメリットがあり、「従業員の心の健康」は無視できないテーマとなっています。**

簡単でわかりやすく、スピーディな新システム



ヘルスチェッカー フォークラウド



Produced by  株式会社オーイーシー

AIによる かんたん＆早い 新メンタルコンディションチェック!

START



1 STEP 撮影前に、まずはアンケート

撮影前に複数の簡単なアンケート入力。
ボタンを押すだけの気軽なアンケート項目です。



2 STEP カメラを見るだけ、約1分間の簡単判定

「撮影開始」ボタンを押すだけの全自動。
リラックスしてカメラを見つめてください。



3 STEP 判定結果は「オンライン」で、コンディションを簡単把握

判定結果は、グラフやコメントをもとに表示されます。
「難しいことは…」という方でも一目瞭然なシートで、簡単にメンタルチェックが把握できます。



4 STEP ヘルスチェッカー判定結果

いつでも、どこでも「ヘルスチェッカー」

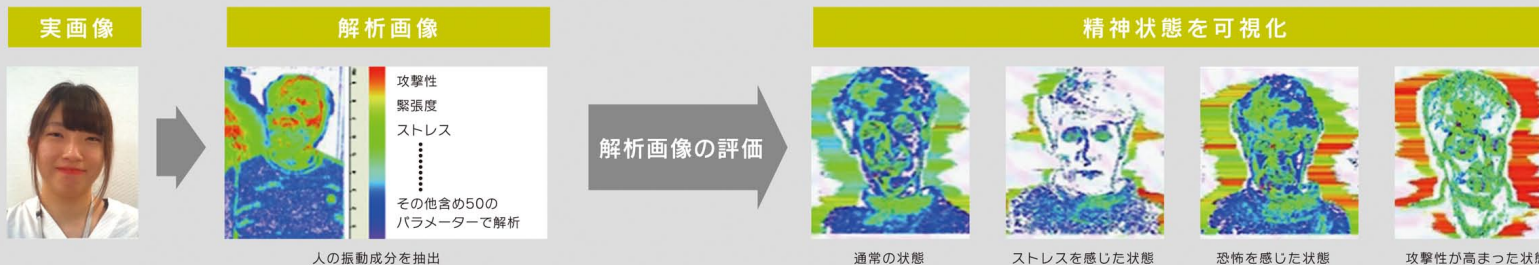


専用機器の必要なし! 「個人デスク」「会議室」「休憩室」「ご自宅」など、場所を選びません。
カメラ付パソコンと、単色背景のみでコンディションチェックが可能です。

Vibrimage とは…?

～ウィブライメージ～

「Vibrimage」は、市販のウェブカメラなどによる情報と画像処理によって、人物の微振動を解析する技術。近年では、オリンピックの入場ゲートやサミットの警備などにも使用されています。



ヘルスチェッカーは問題解決の近道!

× **メンタルヘルスケアの取り組みには
様々なハードルがあるため解決が難しい!**

**取り組み方が
わからない…**

不調かどうかの判断が難しいため、どのように取り組めばいいかわからない。

費用感がわからない…

予算には限りがあり、多額な費用をかけるわけにはいかない。

**専属スタッフ
などがいない…**

メンタルケア専属のスタッフや、専門医などの協力体制が整っていないため、メンタルヘルスチェックができていない。判定結果をうまく活用できていない。



**簡単な取り組みの
ワンクリック
システム**

ボタン一つでメンタル
コンディションがわかる!



**期間や人数による
明確な料金
システム**

「必要経費」が事前にわかる!



**知見データからの
定量化システム**

専門スタッフがなくても
チェック結果がわかる!



**「AI」を用いた
メンタルコンディション・チェックシステム**

カウンセリング所要時間

- アンケート …… 1~2分ほど
- WEBカメラで、顔の動画を30~60秒間撮影します。 ※撮影時間は、設定により前後いたします。
- 撮影終了後にヘルスチェッカーによる判定結果を確認できます。

判定周期によるチェック目的

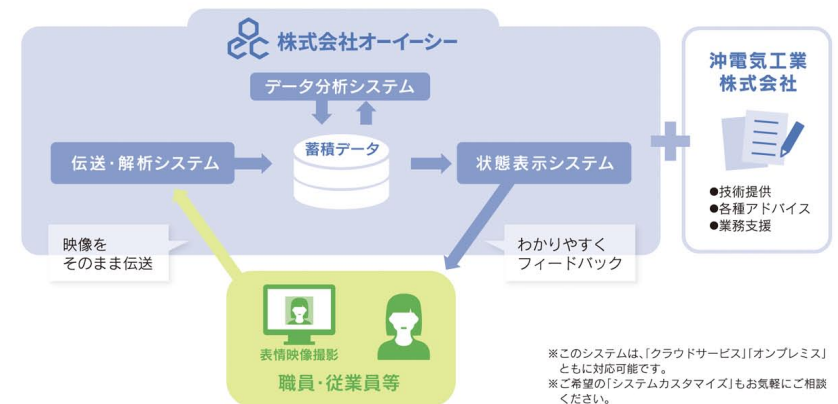
「毎日の出勤時」に判定する場合

“こころ”の状態の毎日の推移を把握し、不安定になった時のケアや、仕事量の調整を通して、“こころ”のトラブルを未然に防ぎます。

定期的(毎週や2週間に1回など)に判定する場合

定期的な判定から休日明けや、繁忙期・閑散期での“こころ”の状態の変化を把握し、結果がよくない場合の素早い対応に備えることができます。

システム構成図



販売元



<https://www.oec.co.jp>

DX・海外連携推進室

〒870-0037 大分市東春日町17番57号 ソフトパーク内
TEL.097-537-9564

お問い合わせ先